

RFID 技術を用いた情報セキュリティーシステムが本格稼働 個人情報取扱事業者として最高水準のセキュリティー体制を構築

情報管理ソリューションのトッパン・フォームズ株式会社（以下、トッパンフォームズ）は、首都圏のメインプラントである滝山工場（東京都八王子市）とデータセンターで、新たに RFID（電波による個体認識）技術を活用した車両入退場管理システムと磁気媒体管理システムを構築し、本日より本格稼働を開始します。

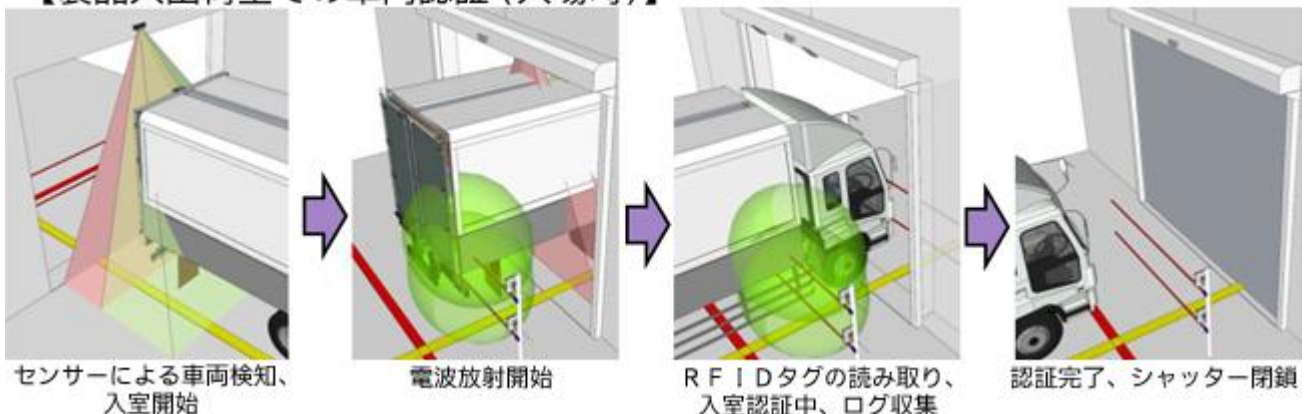
トッパンフォームズでは、共に国内トップシェアのデータ・プリント・サービス(DPS)や ID カードの製造・発行において、お客様よりお預かりした個人情報を高いセキュリティー環境下で管理運用をしています。個人情報の取り扱いが当社ビジネスの根幹であり、強みでもあります。個人情報取扱事業者として最高水準のセキュリティー体制を強化すべく、個人情報を印字する製造工場やデータ処理を行うデータセンターにおいて、当社商材である RFID 技術を活用した新たなセキュリティーシステムの稼働を開始します。

【滝山工場での車両入退場管理システム】

滝山工場では、セキュリティー設定レベルの高い製品入出荷室で UHF 帯の RFID タグを用いた車両の入退場管理システムが稼働します。本システムは配送車両特定と入出荷室での入退場認証を行うことで、指定された入出荷室への入退場時間を把握します。また、収集したログの活用により誤配送防止につながります。

フォークリフトを運転する作業者の工場内部から入出荷室への出入りについても、RFID タグを使用したシステムでシャッターの開閉認証や通過ログの収集を行います。認証を行うことで作業者を限定し、工場内部への誤侵入を防止します。さらにフォークリフトに搭乗したままのシャッターの開閉が可能となり、作業効率の向上にもつながります。

【製品入出荷室での車両認証（入場時）】



【データセンターでの磁気媒体管理システム】

データセンターでは、RFID 技術を用いた磁気媒体管理システムが稼動します。トッパンフォームズが開発・販売している資産管理パッケージシステム「Easy Checkout/イージー チェックアウト」とセキュリティーゲートシステムを連携させることで、お客様とのデータの受け渡しに使用する磁気媒体の個体管理や入出庫ログの収集、持ち出し状況の確認、不正持ち出し管理などを行います。また、保管庫でお預かりしている磁気媒体の資産管理も本システム上でリアルタイムかつ正確に行うことができ、棚卸し作業にかかる時間を従来の6分の1に削減しました。

【今後の展開について】

トッパンフォームズでは今回の施策に留まらず、継続してセキュリティー体制の強化を進めていきます。今回の首都圏に加え、2014年5月に竣工した大阪桜井工場（大阪府三島郡）、および国内のその他生産拠点、データ処理拠点でもセキュリティー体制を強化すべく、積極的な設備投資を行っていきます。

また、社内導入によって蓄えた運用ノウハウを活かしてお客様のご利用環境下でも使いやすいシステムを構築し、拡販をしていきます。

以上

※ 記載している市場シェアはともに当社の独自調査によるものです。

※ 「DPS」、「Easy Checkout」は、トッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 広報部 TEL:03-6253-5730